

国立病院機構熊本医療センター

No.168



# くまびょう NEWS

NHO KUMAMOTO MEDICAL CENTER KUMABYO NEWS

発行所  
国立病院機構熊本医療センター  
〒860-0008  
熊本市二の丸1番5号  
TEL (096) 353-6501(代)  
FAX (096) 325-2519

## 待望のヘリポートが完成しました

当院は防災ヘリ「ひばり」の基幹病院であるとともに最終受け入れ病院となります。

本年2月8日から病院玄関前のロータリー上に設置工事を行って参りました待望のヘリポートが、5月末日に完成しました。当院のヘリポートは、熊本型ヘリ救急搬送体制の根幹をになうもので、これにより当院は6月から防災消防ヘリ「ひばり」の基幹病院として機能することになります。来る12月より導入が決まりましたドクターヘリ（熊本赤十字病院が基地病院）と併せて、熊本県のヘリ救急搬送体制は、ドクターヘリと防災ヘリの2機で運用されることになっています。ドクターヘリが主に現場救急事案に対応するのに対し



まして、防災消防ヘリは、熊本県内各地域の中核病院で治療中の重症患者で、さらなる集中治療が必要と判断された患者の救命救急センターへの搬送を行います。すでに院内の受け入れ体制も高橋 毅救命救急・集中治療部長を中心に整備されています。これまで工事に伴い、患者様初め多くの皆様方にご不便をおかけ致しましたが、駐車場等も利用しやすくなりますのでどうぞよろしくお祈いします。

(副院長 河野 文夫)



正面玄関前に建設されました。

## 駐車場の利用変更のご案内

ヘリポート新築整備工事の施工中、駐車場の使用制限や歩行者の通行規制等により色々ご迷惑をお掛けしていたところですが、当工事の完成に伴い6月1日より駐車場利用方法を全面的に変更させて頂きましたのでお知らせ致します。駐車場の全面開放に伴い、約390台が収容可能（職員専用除く）となりました。また、玄関前ロータリーの使用再開により玄関口での乗降が可能となり、7ヶ所ある屋根付き車椅子専用スペースも同時に使用開始となりましたので、特に雨天時の利便性が向上するものと期待しています。

なお、工事期間中、全ての車両が「二の丸公園側」を出口としていましたが、今後は従前同様、「南側（坂道側）」が出入口となりますので、ご来院の際はご注意をお願い致します。

新病院建築開始から4年余り、ようやく課題であった院内駐車場が完成しました。この間、登録医の先生方や患者様をはじめ、ご来院の多くの皆様には大変なご不便をお掛け致しましたが、大変利用しやすい駐車場として生まれ変わっておりますので今後ともよろしくお祈い致します。

(企画課長 末次 剛輝)

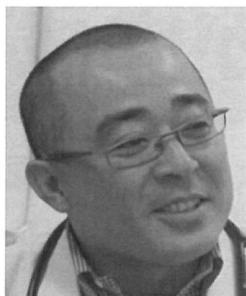


## 「最良の参考書」

医療法人 木生会

安成 医院

院長 安成 英文



玉名郡玉東町で開業して10年になります。

人口5700人の町で父の急逝の後の開業当初から私自身の実力に関係なくいろんなかたが受診されますので、中核病院の先生方のお力添えなくしては患者さんに迷惑かけることばかりです。特に熊本医療センターの先生方へ紹介した患者さんのお返事は詳細な診療情報が満載で、元来消化器・一般外科で卒後7年で開業した私にとって一つ一つの患者さんのやりとりはとても大切な勉強の機会です。「患者は最良の教科書」と申しますが、「診療情報提供書は最良の参考書」と思います。この最新の医学情報を我々

に伝えて頂いていることも、全科をあげて医療に取り組まれている熊本医療センターのもうひとつの大きな役割だと思います。勤務医時代にテキトーなお返事しか書いていなかった事を恥ずかしく思い出しています。

また、在宅医療では特に終末期の方ですが「いかにスムーズに病診連携するか」に腐心しています。いかに在宅移行時の不安を取り除くかが在宅医療の鍵と考えています。医療連携室の方の働きが大きいと感じますが、退院時カンファレンスには皆様にお忙しい時間を割いて頂き、また熱心に参加して頂ける事に感謝しています。一人の患者さんと家族を通して病診がひとつのチームになれる非常に重要な機会と感じます。是非どんどん開催し我々に呼びかけて頂きたいと思っています。

いろんな方へ対応せざるを得ない状況に乗じて、PIPC (psychiatry in primary care) 研究会 (<http://pipc-jp.com/>) という活動をしています。いわゆる不定愁訴の方の来院はとて多く以前はその対応に苦慮していましたが、この研究会のセミナーで学ぶことで積極的に診療する気になってきました。患者さんの長い話に対処するテクニックなど詳細は割愛しますが、中核病院の皆様にもお役に立てる内容かと思えます。玉名でも3回開催しました。ご興味があればHP覗いてみてください。いろんなところで開催予定です。

熊本医療センターの皆様のますますの発展を祈念します。

## 臨床研修説明会について

毎週金曜日に当院での研修を希望している医学生の病院見学を行っております。来年にむけて病院説明会のシーズンとなりました。5月8日(日)には福岡国際会議場で九州厚生局主催の病院説明会に出席しました。いろいろな大学医学部の5年生が、説明ブースを訪れてくれました。当院から副院長、鶴田医師をはじめ研修2年次の吉津、山田、山本の各先生が参加し、医学生に熱心に説明をしてもらいました。

6月18日(土)の当院主催の説明会は14時から18時まで、研修センターホールで開催し、当院の研修医と医学生の意見交換を予定しています。

7月2日は九州医療センターで、九州の各国立病院が集まっての説明会です。私達の取り組みをしっかりと広報していきたいと思えます。当院での研修に興味のあられる学生さんがおられましたら、どうぞご参加いただきますようお知らせお願いいたします。

(研修部長 清川 哲志)

### 臨床研修説明会

日時：平成23年6月18日(土) 14:00~18:00

場所：国立病院機構熊本医療センター地域医療研修センターホール

# 病棟紹介〈4〉

## 6 北病棟・CCU

6 北病棟・CCUには、心臓血管外科の岡本医長、田中医師、循環器内科では藤本医長をはじめ他4名の医師とCCU看護師16名、6 北病棟看護師31名が配属されています。

冠動脈バイパス術や弁膜症、大動脈瘤に対する手術や急性心筋梗塞、急性心不全、ショック、心肺停止などの重症例に対しても、24時間365日対応できる体制にあります。また、平成12年2月からモービルCCUが24時間運行可能となり、平成21年9月からCCU（4床）が新設され、医師が24時間常駐し、重症の患者を迅速に対応できるようになりました。必要時、循環器科と心臓血管外科は、手術の検討は両者で行い、緊急手術にも迅速に対応しています。CCU退室後は、計画的に心臓リハビリテーションを行い転院あるいは退院に向けて支援しているところです。

6 北病棟・CCU看護師長 城 雪子



6 北病棟のスタッフ



CCUのスタッフ



4床のCCU室内



スタッフステーションにある  
心電図モニター



スタッフステーション



救命センター・手術室と  
直通の専用エレベーター



デイルーム

# 2011 診療科紹介 (37) 泌尿器科



**医長**  
**菊川 浩明**  
泌尿器科一般、神経因性膀胱  
悪性腫瘍、鏡視下手術  
日本泌尿器科学会認定指導医・専門医  
日本泌尿器科学会評議員  
身体障害者福祉法認定医（膀胱）  
日本がん治療暫定教育医



**医長**  
**陣内 良映**  
泌尿器科一般  
悪性腫瘍、鏡視下手術  
日本泌尿器科学会認定指導医・専門医  
日本泌尿器科学会評議員  
日本がん治療認定医



**医長**  
**瀬下 博志**  
泌尿器科一般  
悪性腫瘍、内視鏡手術  
日本泌尿器科学会認定指導医・専門医  
日本泌尿器科学会評議員  
身体障害者福祉法認定医（腎臓）

## 特色

尿潜血精査から尿路・性器悪性腫瘍、小児泌尿器科、尿失禁・下部尿路機能障害まで、泌尿器科全般を行っています。また、救命救急センターとも連携し泌尿器科救急疾患にも対応しています。（日本泌尿器科学会認定指導施設）

## 症例数・治療・成績

病棟は泌尿器科疾患で常時30名前後の入院があります。平成22年度の新入院患者数は797名で、平均在院日数も12.1日となっております。外来は約1000名の新患受診がありました。尿路悪性腫瘍を中心に診療を行っており、膀胱癌、前立腺癌を中心に多くの症例を紹介頂いています。膀胱癌症例の約8割は内視鏡下切除（TUR-BT）にて治療できていますが、浸潤性膀胱癌の場合、放射線科の協力で抗癌剤動脈内注入療法を施行後、内視鏡切除（TUR-BT）を追加し膀胱温存を目指したり、膀胱全摘が必要な場合は、尿路変更として尿袋の要らない自然排尿型新膀胱形成術（Studer変法）も取り入れ、個々の症例に応じた治療を行っています。過去10年間に170例の膀胱全摘を経験しており、症例数としては国内トップレベルです。平成13年に開



**医師**  
**岩下 仁**  
泌尿器科一般、内視鏡手術  
泌尿器科救急疾患  
日本泌尿器科学会認定指導医・専門医



**医師**  
**鏑田 知子**  
泌尿器科一般  
泌尿器科救急疾患  
日本泌尿器科学会認定専門医  
日本がん治療認定医



**医師**  
**矢野 大輔**  
泌尿器科一般  
泌尿器科救急疾患  
日本泌尿器科学会会員



**医師**  
**土岐 直隆**  
泌尿器科一般  
神経因性膀胱  
日本泌尿器科学会認定指導医・専門医  
日本泌尿器科学会評議員

始した鏡視下副腎・腎・尿管手術も100例に達しました。増加の著しい前立腺癌に対しては、まず、1泊入院で針生検を行い、外来で病期診断を行った後、治療方針を決定します。ホルモン治療や手術、放射線療法など、総合病院の特性を活かした治療選択枝を揃え対応しています。平成22年度の総手術件数は385件でした。

## 医療施設

鏡視下手術システム、TURisシステム、軟性膀胱鏡、超音波診断装置、尿流動態検査装置など。

## 外来診療

月～金。水曜は手術日にて新患のみです。ただし急患は24時間対応します。  
菊川・瀬下＝火、金 陣内・岩下＝月、木  
鏑田＝火 土岐＝木

## 今後の目標・展望

昨年より女性泌尿器科医師が加わり、女性に特有な尿失禁や骨盤臓器脱についても診療を広げたいと考えております。また、がん拠点病院として泌尿器科がんの診療を中心に診療を行い、今後も最先端の医療をより安全に提供できるように努力したいと考えています。

## 緩和ケア研修会が開催されました

5月7日8日の両日、当院の地域医療研修センターで平成23年度国立病院機構熊本医療センター緩和ケア研修会を開催しました。がん対策推進基本計画で「すべてのがん診療に携わる医師が研修等により、緩和ケアについての基本的な知識を習得する」ことが目標として掲げられています。当院のような地域がん診療連携拠点病院には緩和ケアの普及を推進することが求められており、今回で3回目の開催になります。

本年度も医師14名、他職種9名の多数の参加をいただきました。講義のみでなく、症例を提示し、その患者さんの苦痛を取り除き、生活の質を改善するにはどのようにしたら良いかワークショップ形式で検討したり、実際に悪い知らせを患者さんに伝える場面を想定してロールプレイを行いました。

地域連携のセッションでは、在宅療養を希望されている若い症例を想定し、その患者さんのために行える症状緩和治療・ケア・療養の上で必要な社会資源について話し合い、多職種での研修ならではの多方面からのアプローチができたと思います。この考え方を日常臨床に取り入れることにより、これまで以上に一人で



地域連携のセッションの様子

も多くの患者さんが、ご自身の希望する療養生活を送れるようになるようサポートできればと思います。今後も当院と連携いただいている先生方とともに、この場を通して更に顔の見える医療を目指し、切れ目のないがん診療・緩和ケアを実現していければと考えております。なお本研修会に参加された医師には全日程終了後、厚生労働省健康局長からの修了証書をお渡ししました。(血液内科 榮 達智)

## 二の丸がんサロンを開設しました

この度、熊本医療センターにがんサロンが発足致しました。正式名称は「国立病院機構熊本医療センター二の丸がんサロン」です。参加された皆様方からは、「二の丸がんサロン」と呼ばれております。がんサロン開設にあたっては、当院に通院されている4人の世話人の方が県内のがん患者さんやご家族に呼びかけてご尽力下さいました。このサロンは、気兼ねなくがん患者さんやご家族が集い日頃の思いや悩みを語り合い交流出来ることを目的としております。参加された皆

様方からは「ここにがんサロンが出来るのを待ちました」「私の経験が少しでもお役に立てばうれしいです」等の声が聞かれ、同じ境遇の患者同士で語り合う場としてのサロンの意義を実感致しました。今後も、交流や様々なプログラムを通して、癒しの時間を過ごしていただけるようスタッフ一同支援させていただきたいと思っておりますので宜しくお願い致します。

(地域医療連携係長 田中 富美子)



副院長挨拶の様子



グループに分かれて患者さん同士で交流されました。



★がんサロンは毎月第1金曜日13:00~15:00開催。場所は第3研修室です。★

★問い合わせ先：国立病院機構熊本医療センター 地域医療連携室（4階 10番窓口）

電話 096-353-6501（内線：2360・2361）8:30~17:15（土日、祝日除く）★

地域医療連携係長 田中 富美子

**いま、国立病院機構  
熊本医療センターで  
何が研究されているか**

**シリーズ54回**

**「大腿骨頸部骨折患者に対する術前起立練習が術後の患肢荷重に及ぼす影響について」**

理学療法士 榮 彩人



本研究は、大腿骨頸部骨折患者に対して術前起立練習が術後の患肢荷重率の増加、早期離床・早期歩行獲得の要因であるか否かの検証を行いました。大腿骨頸部骨折で入院し、人工骨頭置換術適応となった患者(23名、81.5±6.2歳)を対象とし、術前起立練習実施群(13名)と非実施群(10名)の2群に分け、手術待機期間中に実施群には起立練習を行いました(図)。対象者に対しては、研究説明書にて本研究の主旨を説明した後、本人の同意を得ました。本研究は国立病院機構熊本医療センターの倫理委員会の承認を得て行いました。

結果、術後2日の患肢荷重率は、実施群が63.9±11.8%に対し、対照群が37.7±7.8%でした。術後7日の患肢荷重率は、実施群が87.2±7.8%に対し、対照群が59.3±12.3%でした。それぞれ2群間に有意差が認められました。術後の車椅子移乗動作獲得日は実施群が術後1.3±0.5日に対し、対照群が術後5.4±1.8日でした。歩行器歩行獲得日は、実施群が術後3.1±1.0日に対し、対照群が術後9.3±2.2日でした。それぞれ2群間に有意差が認められました。

以上により、術前起立練習は術後の患肢荷重率を高め、早期離床・早期歩行獲得に寄与することが分かりました。実施群は術前から起立し立位を経験することで、患肢への荷重も対照群に比べてスムーズに行うことが可能となり、患肢荷重率が増加したと思われます。加藤ら(2004)は術前起立練習という抗重力活動が下肢機能を維持させるとし、対馬(2007)はパフォーマンスを向上するには、運動特異性の面から局所的な筋力増強運動よりもその動作自体を繰り返す練習が必要であるとしています。よって、術前の起立動作はまさに下肢機能や全身の筋力を維持する最適な方法であり、術後の早期離床・早期歩行獲得につながったと思われます。さらに術前起立練習は患者のモチベーショ

ンの向上・不安軽減にもつながり、術後のリハビリテーションをスムーズに進め、精神的な側面に対しても効果があると示唆されました。

臨床への応用として、術前期間中の離床を院内クリティカルパスに組み込むことで、病棟トイレでの排泄ケアが可能となり、起立という身体的アプローチとトイレ排泄という精神的アプローチにつながると考えられます。今後は症例数を増やし、交絡因子を最小限にしたさらなる研究を進め、エビデンスを高めて院内クリティカルパスに反映させたいです。

(引用文献)

加藤仁志ら、2004、大腿骨頸部骨折に対する術前リハビリテーションの新たな試みー術前起立練習の導入ー、整形・災害外科、47(13)、1597-1603

対馬栄輝く、2007、自重による筋力増強、理学療法、24(7)、923-931



図 術前起立練習

健肢(左側)支持での立位。患肢(右側)は荷重せず、接地のみである。

**第11回 二の丸肝臓談話会のお知らせ**

(日本医師会生涯教育講座 1.5単位認定)

この度、第11回二の丸肝臓談話会を下記の要綱にて開催したいと存じます。何かとご多忙中とは思いますが、万障お繰り合わせの上ご出席賜りますようお願い申し上げます。

座長：庄嶋医院 院長 庄嶋 健 先生

**多様化する慢性肝炎治療と肝がん医療連携**

1. 「平成22年度肝疾患治療ガイドラインについて」  
国立病院機構熊本医療センター消化器内科医長 中田 成紀
2. 「透析中のC型慢性肝炎に対するインターフェロン治療」  
国立病院機構熊本医療センター消化器内科医長 杉 和洋
3. 「肝がんの地域医療連携～『熊本県版 わたしのカルテ』」  
国立病院機構熊本医療センター地域医療連携係長 田中富美子

日 時：平成23年6月13日(月) 19:30～21:00

場 所：国立病院機構熊本医療センター2階 地域医療研修センター

【問合せ先】国立病院機構熊本医療センター消化器内科医長 杉 和洋 TEL：096-353-6501(代表) FAX：096-325-2519

# 新任職員紹介



皮膚科

かじ はら いっ こう  
梶原 一 亨

平成23年4月より、当院皮膚科で勤務することになりました梶原一亨と申します。

平成16年3月に熊本大学を卒業後、同年4月より熊本大学医学部附属病院および天草中央総合病院で初期研修し、熊本大学皮膚科に入局いたしました。

その後、熊本大学医学部附属病院および熊本市市民病院に勤務いたしました。

当院にて多数の症例を経験し、自分自身の皮膚科学を構築していきたいと思っております。

先生方にもいろいろと御迷惑をおかけすることも多いと思っておりますが、何卒よろしく願います。



泌尿器科

いわ した ひとし  
岩下 仁

今年4月より泌尿器科勤務となりました岩下仁です。H10

年度卒です。国立病院機構熊本医療センターに来る前は、国保水保総合医療センターに4年間勤務していました。

国立病院は忙しい（特に救急医療）と聞いておりますので、これまでのんびりとした生活を送っていましたので、非常に緊張しております。

泌尿器科の仕事、及び救急の仕事、どちらもがんばってきたいと思っております。

先生方にご迷惑をかけることもあるかと思っておりますが、宜しくお願い致します。



神経内科

こ さか たか ゆき  
小 阪 崇 幸

平成23年4月より神経内科で勤務することとなりました小阪崇幸と申します。

平成12年に熊本大学医学部を卒業し、神経内科学教室に入

局後、熊本大学付属病院、済生会熊本病院、熊本市市民病院、大牟田天領病院、国立病院機構熊本南病院において勤務してまいりました。

もともと熊本市内の出身で、城西小学校、熊本大学付属中学校に通っておりましたので、このたび縁あって、ここ熊本医療センターで働けるようになりましたことを大変嬉しく思っております。

幼いときからお世話になってきた地元の医療に貢献できるように、精一杯がんばりたいと思っております。どうぞ、宜しくお願い申し上げます。



外科

いずみ だい すけ  
泉 大 輔

4月から外科でお世話になっております泉大輔と申します。平成20年に熊本大学を卒業し、2年間の熊本赤十字病院での初期臨床研修後、平成22年4月に熊本大学消化器外科へ入

局し、1年間専門修練医として勤務しました。現在医師としては4年目となります。

外科医として一般病院で勤務するのは今回が初めてです。大学病院では重症や稀な疾患に出会うことが多かったですが、一方救急疾患にはあまり触れる機会がありませんでした。当院は県内でも有数の救急病院であり、多数の救急症例に出会えることを楽しみにしています。救急に関しては研修医の頃から1年間のブランクがありますが、早く仕事に慣れ、お役に立てるように研鑽を積みしたいと思います。先生方には御迷惑をかけることも多いかと思っておりますが、精一杯努力していきますので、何卒宜しくお願い致します。



整形外科

たの うえ ひろ のり  
田 上 裕 教

平成23年4月より整形外科で勤務することになりました田上裕教と申します。

平成20年3月に熊本大学を卒業し、熊本中央病院で2年間

の初期研修を終え、平成22年4月から熊本大学整形外科に入局しました。整形外科医として2年目となります。当センターでは救急疾患、特に骨折など外傷の症例数が非常に多いと伺っております。まずはこの一年間、外傷疾患を中心に勉強をさせていただくためお世話になることになりました。病院自体も学生の時に見た印象から大きく変わり、驚いております。院内の電子カルテなど新しい体制になれるのに時間がかかるかもしれません。未熟者で先生を始め、多くのスタッフの皆様にはご迷惑をおかけすると思っておりますが、できるだけ早く当院に貢献できるよう日々精進していきたいと考えておりますのでよろしくお願い致します。



腎臓内科

なか がわ てる まさ  
中 川 輝 政

H23年4月から腎臓内科に勤務させて頂くこととなりました中川輝政と申します。

H20年に熊本大学医学部を卒業し、沖縄県立南部医療センター・こども医療センターにて初期臨床研修を終え、H22年4月に本大学医学部付属病院腎臓内科に入局し大学で1年間勤務いたしました。

学生時代に実習させて頂いた頃とは全く違い、病院が新しくなっており驚きましたが、救急車のサイレンの音を耳にするたびにここが熊本医療センターであることを再確認致しました。先生方にはご迷惑をおかけすることも多々あると思っておりますが、精一杯がんばりたいと思っておりますので宜しくお願い致します。

# 新任職員紹介



精神科

うえ たに まき  
上谷 磨紀

平成23年4月より精神科に勤務することとなりました上谷磨紀と申します。

平成18年に愛媛大学医学部を卒業し、熊本大学病院、熊本中央病院で2年間の初期研修を終え、平成20年4月に熊本大

学神経精神科医局へ入局しました。

熊本大学病院、天草の酒井病院、熊本県立こころの医療センターでそれぞれ1年間精神科医として勤務し、医師としては6年目となります。

当院は、県内有数の救急病院であり、特に精神科では他科との連携の下、精神科救急を行う重要な役割を担っています。単科の精神科病院とは、仕事内容も雰囲気も大きく違うため不安もありますが、精一杯頑張りたいと思います。ご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、ご指導よろしくお願い致します。



精神科

わた なべ あゆ こ  
渡邊 鮎子

平成23年4月1日より、国立病院機構熊本医療センター精神科で勤務することになりました渡邊鮎子と申します。

平成20年3月金沢医科大学医学部を卒業し、4月より同院

で2年間初期臨床研修を行いました。平成22年4月に熊本大学医学部付属病院神経精神科入局し、1年間レジデントとして勤務させていただきました。

当センターは救急疾患が多く、忙しいというイメージで、私はこれまで救急医療に携わることが少なかったため不安が強いのですが、良い機会に恵まれたと思い、勉強させていただきたいと思っております。

神経精神科の先生をはじめ、他科の先生方には助けていただくことも多いと思いますが、一生懸命がんばりますので、ご指導の程よろしくお願い致します。



精神科

さ さき ひろ き  
佐々木 博之

平成23年4月より精神科に勤務することとなりました佐々木博之と申します。

平成20年熊本大学医学部を卒業し、熊本労災病院にて2年

間の初期研修を終え、平成22年4月に熊本大学神経精神科に入局いたしました。当初、初期研修終了後は出身の関東に戻る予定でしたが、精神科の先生方とはいろいろと縁があり、結局熊本に残らせて頂きました。入局後は1年間大学で学ばせて頂き、この度当院勤務の運びとなりました。

研修中は主に救急関係に力を入れていたので、当院でもそれが少しでも生かせればと考えてはおりますが、まだまだ未熟で至らない点が多々あると思われま。先生方には何かとお世話になることがあるかは存じますが、精一杯頑張りますので御指導・御鞭撻の程何卒宜しくお願い申し上げます。



小児科

い で よう こ  
井出 瑠子

平成23年4月から小児科で勤務させていただくことになりました井出瑠子と申します。

平成19年に熊本大学医学部を卒業後、熊本大学で2年間の

初期研修を終え、平成21年4月に熊本大学小児科に入局いたしました。平成21年4月より熊本大学で1年間、平成22年4月より人吉総合病院で1年間研修させていただきました。

今回、小児の血液疾患やアレルギー疾患を勉強させていただくため、国立病院機構熊本医療センターにお世話になることとなりました。まだまだ勉強不足ですし、医師としても未熟で不安な気持ちもありますが、精一杯の努力をしていきたいと考えています。皆様にご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、何卒よろしくお願いいたします。



眼科

ひら しま みほ  
平島 みほ

4月から眼科でお世話になります平島みほと申します。

熊本医療センターには研修医一年目で御世話になりました。

忙しかったのですが、雰囲気がとてもよく、充実した研修ができたので、再び勤務することになり嬉しく思っております。

眼科に入局して四年目になりますが、産休育休で約1年間臨床から離れていたため、力も気持ちも一年目です。不安も多いですが、新たな気持ちで診療に励みたいと思っております。

先生方にはたくさんご迷惑をお掛けすると思いますが、どうぞよろしくお願い致します。

# 研修のご案内

## 第13回 症状・疾患別シリーズ (会員制)

[日本医師会生涯教育講座2.5単位認定]

日時▶平成23年6月4日(土) 15:00~17:30

場所▶国立病院機構熊本医療センター地域医療研修センター

座長: 熊本県医師会理事

飯星 元博 先生

演題: 「CKD (慢性腎臓病) とAKI (急性腎障害)」

- |                |                       |          |
|----------------|-----------------------|----------|
| 1. AKIについて     | 国立病院機構熊本医療センター腎臓内科    | 梶原 健吾    |
| 2. CKD病診連携について | 国立病院機構熊本医療センター腎臓内科医長  | 富田 正郎    |
| 3. CKDと高血圧     | 熊本大学大学院生命科学研究部腎臓内科学助教 | 安達 政隆 先生 |

この講座は有料で、年間10回を1シリーズ(年会費10,000円)として会費制で運営しています。但し、1回だけの参加を希望される場合は1回会費2,000円で参加いただけます。

[問合せ先] 国立病院機構熊本医療センター 地域医療研修センター事務局

TEL 096-353-6501 (代表) 内線2630 096-353-3515 (直通) FAX 096-352-5025 (直通)

## 第29回 熊本がんフォーラム (無料)

日時▶平成23年6月8日(水) 19:00~21:00

場所▶国立病院機構熊本医療センター地域医療研修センター

司会: 帯山中央病院 副院長

吉田 直矢 先生

「消化管癌の化学療法」

国立病院機構熊本医療センター消化器内科医長

中田 成紀

[代表世話人] 国立病院機構熊本医療センター臨床研究部長 芳賀 克夫

[問合せ先] 国立病院機構熊本医療センター 地域医療研修センター TEL 096-353-3515 (直通) 096-353-6501 (代表) 内線2630

## 第118回 三木会 (無料)

(糖尿病、高脂血症、高血圧を語る会)

[日本医師会生涯教育講座1.5単位認定]

[日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位<2群>0.5単位認定]

日時▶平成23年6月16日(木) 19:00~20:45

場所▶国立病院機構熊本医療センター研修室2

- 「高コレステロール血症合併2型糖尿病における脂質検査値と動脈硬化進展度との関係」  
国立病院機構熊本医療センター糖尿病・内分泌内科 嶋田さやか、児玉章子、高橋毅、豊永哲至、東輝一朗
- 「高アルカリフォスファターゼ血症で見つかったビタミンD欠乏症の1例」  
慈恵病院 内科 井上 準之助 先生

なお、興味のある症例、疑問・質問のある症例がございましたら、お持ちいただきますようお願い致します。

[問合せ先] 国立病院機構熊本医療センター内科部長 東 輝一朗 TEL 096-353-6501 (代表) 内線5705

## 第149回 月曜会 (無料)

(内科症例検討会)

[日本医師会生涯教育講座1.5単位認定]

日時▶平成23年6月20日(月) 19:00~20:30

場所▶国立病院機構熊本医療センター地域医療研修センター

- 胸部レントゲン読影
- 持ち込み症例の検討
- 症例検討「Protective Sheathとしての4FカテCokatteによるステントデリバリー」  
国立病院機構熊本医療センター循環器内科 古賀 英信
- ミニレクチャー「脳梗塞ガイドラインをふまえての考え方」  
国立病院機構熊本医療センター神経内科 小阪 崇幸

日頃、疑問の症例、興味のある症例、X線、心電図、その他がございましたら、ご持参いただきますようお願い致します。

[問合せ先] 国立病院機構熊本医療センター研修部長 清川 哲志 TEL: 096-353-6501 (代表) FAX: 096-325-2519

## 第112回 救急症例検討会

(特別講演)

日時▶平成23年6月22日(水) 18:30~20:00

場所▶国立病院機構熊本医療センター地域医療研修センター

座長: 久留米大学救急医学講座教授 坂本 照夫 先生

特別講演「日本の航空医療の歴史」

日本航空医療学会理事長

小濱 啓次 先生

医師、薬剤師、看護師、技師、救急隊員、事務職等全職種が参加できます。多数のご参加を歓迎します。

[問合せ先] 国立病院機構熊本医療センター 地域医療研修センター事務局 TEL 096-353-6501 (代表) 内線2630 096-353-3515 (直通)

## 第68回 特別講演 (無料)

[日本医師会生涯教育講座1.5単位認定]

日時▶平成23年6月29日(水) 19:00~20:30

場所▶国立病院機構熊本医療センター地域医療研修センター

座長: あけぼのクリニック 理事長 松下 和孝 先生

「尿路性器癌の治療における最近のトピックス」

熊本大学大学院生命科学研究部泌尿器病態学教授

江藤 正俊 先生

[問合せ先] 国立病院機構熊本医療センター 地域医療研修センター TEL 096-353-6501 (代表) FAX 096-325-2519

# 2011年 研修日程表 6月

国立病院機構熊本医療センター 地域医療研修センター

6月	研修センターホール	研修室	その他
1日(水)			7:45~8:15 外科術後症例検討会 6東 17:00~18:30 血液形態カンファレンス C2 17:30~19:00 消化器疾患カンファレンス C1
2日(木)			7:45~8:15 外科術後症例検討会 6東 7:50~9:00 整形外科症例検討会 C1 17:00~19:00 循環器カンファレンス 6北 17:30~19:00 超音波カンファレンス 消 18:00~19:00 糖尿病・内分泌内科カンファレンス C2
3日(金)			7:45~8:15 外科術後症例検討会 6東 8:00~8:30 麻酔科症例検討会 手 8:00~9:00 消化器病研究会 C1
4日(土)	15:00~17:30 第13回 症状・疾患別シリーズ 【日本医師会生涯教育講座2.5単位認定】 座長 熊本県医師会理事 飯星 元博 「CKD（慢性腎臓病）とAKI（急性腎障害）」 1. AKIについて 橋原 健吾 国立病院機構熊本医療センター腎臓内科 2. CKD病診連携について 富田 正郎 国立病院機構熊本医療センター腎臓内科医長 3. CKDと高血圧 熊本大学大学院生命科学研究部腎臓内科学助教 安達 政隆		
6日(月)			7:45~8:15 外科術後症例検討会 6東 8:00~8:30 MGH症例検討会 C1 16:00~18:00 泌尿器科病棟カンファレンス 5西 17:00~18:00 小児科カンファレンス 6西
7日(火)			7:45~8:15 外科術後症例検討会 6東 15:00~16:30 血液病懇話会 C2 15:00~19:00 外科術前症例検討会 C1 18:00~21:00 救急部カンファレンス C2
8日(水)	19:00~21:00 第29回 熊本がんフォーラム 「消化管癌の化学療法」 国立病院機構熊本医療センター消化器内科医長 中田 成紀		7:45~8:15 外科術後症例検討会 6東 17:00~18:30 血液形態カンファレンス C2 17:30~19:00 消化器疾患カンファレンス C1
9日(木)		18:30~20:00 熊本県臨床衛生検査技師会 一般検査研究班月例会(研2)	7:45~8:15 外科術後症例検討会 6東 7:50~9:00 整形外科症例検討会 C1 17:00~19:00 循環器カンファレンス 6北 17:30~19:00 超音波カンファレンス 消 18:00~19:00 糖尿病・内分泌内科カンファレンス C2
10日(金)			7:45~8:15 外科術後症例検討会 6東 8:00~8:30 麻酔科症例検討会 手 8:00~9:00 消化器病研究会 C1
11日(土)	9:30~16:00 第28回 ナースのための心電図セミナー 〈講演〉心電図の基礎 各種心疾患における心電図 不整脈 〈実習〉心電計の取り扱い方	国立病院機構熊本医療センター循環器内科医長 宮尾 雄治 国立病院機構熊本医療センター循環器内科医長 藤本 和輝 末藤内科循環器科 院長 末藤 久和 国立病院機構熊本医療センター循環器内科医長 藤本 和輝 国立病院機構熊本医療センター循環器内科 古賀 英信 国立病院機構熊本医療センター循環器内科 本多 剛 国立病院機構熊本医療センター循環器内科 平田 快雄	
13日(月)	19:30~21:00 第11回 二の丸肝臓談話会		7:45~8:15 外科術後症例検討会 6東 8:00~8:30 MGH症例検討会 C1 16:00~18:00 泌尿器科病棟カンファレンス 5西 17:00~18:00 小児科カンファレンス 6西
14日(火)			7:45~8:15 外科術後症例検討会 6東 15:00~16:30 血液病懇話会 C2 15:00~17:00 外科術前症例検討会 C1 17:00~21:00 泌尿器科・放射線科合同ワグログラム C1 18:00~21:00 救急部カンファレンス C2
15日(水)		13:00~17:00 糖尿病教室(研2)	7:45~8:15 外科術後症例検討会 6東 17:00~18:30 血液形態カンファレンス C2 17:30~19:00 消化器疾患カンファレンス C1
16日(木)	20:00~21:30 第57回 医歯連携セミナー 座長 熊本市歯科医師会 会長 清村 正弥 「腰痛について」 国立病院機構熊本医療センター整形外科部長 橋本 伸朗	19:00~20:45 第118回 三木会(研2) (糖尿病、脂質異常症、高血圧を語る会) 【日本医師会生涯教育講座1.5単位認定】 【日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位<2群>0.5単位認定】	7:45~8:15 外科術後症例検討会 6東 7:50~9:00 整形外科症例検討会 C1 17:00~19:00 循環器カンファレンス 6北 17:30~19:00 超音波カンファレンス 消 18:00~19:00 糖尿病・内分泌内科カンファレンス C2
17日(金)		15:30~16:45 肝臓病教室(研2) 「肝臓について」	7:45~8:15 外科術後症例検討会 6東 8:00~8:30 麻酔科症例検討会 手 8:00~9:00 消化器病研究会 C1
20日(月)	19:00~20:30 第149回 月例会(内科症例検討会) 【日本医師会生涯教育講座1.5単位認定】		7:45~8:15 外科術後症例検討会 6東 8:00~8:30 MGH症例検討会 C1 16:00~18:00 泌尿器科病棟カンファレンス 5西 17:00~18:00 小児科カンファレンス 6西
21日(火)			7:45~8:15 外科術後症例検討会 6東 15:00~16:30 血液病懇話会 C2 15:00~19:00 外科術前症例検討会 C1 18:00~21:00 救急部カンファレンス C2
22日(水)	18:30~20:00 第112回 救急症例検討会・特別講演 座長 久留米大学救急医学講座教授 坂本 照夫 「日本の航空医療の歴史」 日本航空医療学会理事長 小瀧 啓次		7:45~8:15 外科術後症例検討会 6東 17:00~18:30 血液形態カンファレンス C2 17:30~19:00 消化器疾患カンファレンス C1
23日(木)	18:30~20:00 日本臨床細胞学会熊本県支部研修会	19:00~21:00 熊本脳神経疾患懇話会(研2)	7:45~8:15 外科術後症例検討会 6東 7:50~9:00 整形外科症例検討会 C1 17:00~19:00 循環器カンファレンス 6北 17:30~19:00 超音波カンファレンス 消 18:00~19:00 糖尿病・内分泌内科カンファレンス C2
24日(金)			7:45~8:15 外科術後症例検討会 6東 8:00~8:30 麻酔科症例検討会 手 8:00~9:00 消化器病研究会 C1
25日(土)	14:00~16:00 第230回 滅菌消毒法講座 「EBMに基づく消毒薬の選択法」 山口大学医学部附属病院薬剤部准教授 尾家 重治		
27日(月)			7:45~8:15 外科術後症例検討会 6東 8:00~8:30 MGH症例検討会 C1 16:00~18:00 泌尿器科病棟カンファレンス 5西 17:00~18:00 小児科カンファレンス 6西
28日(火)	18:30~20:30 血液研究班月例会	19:00~21:00 小児科火曜会(研1)	7:45~8:15 外科術後症例検討会 6東 15:00~16:30 血液病懇話会 C2 15:00~19:00 外科術前症例検討会 C1 18:00~21:00 救急部カンファレンス C2
29日(水)	19:00~20:30 第68回 特別講演 【日本医師会生涯教育講座1.5単位認定】 座長 あけぼのクリニック 理事長 松下 和孝 「原腸性癌の治療における最近のトピックス」 熊本大学大学院生命科学研究部泌尿器病医学教授 江藤 正俊		7:45~8:15 外科術後症例検討会 6東 17:00~18:30 血液形態カンファレンス C2 17:30~19:00 消化器疾患カンファレンス C1
30日(木)			7:45~8:15 外科術後症例検討会 6東 7:50~9:00 整形外科症例検討会 C1 17:00~19:00 循環器カンファレンス 6北 17:30~19:00 超音波カンファレンス 消 18:00~19:00 糖尿病・内分泌内科カンファレンス C2

研1~3 2階研修室1~3 C1・2 3階カンファレンスルーム1・2 5西 5階西病棟 6東 6階東病棟 6西 6階西病棟 6北 6階北病棟 消 消化器病センター読影室 手 手術室  
問い合わせ先 〒860-0008 熊本市二の丸1番5号 国立病院機構熊本医療センター2階 地域医療研修センター  
TEL 096-353-6501(代) 内線2630 096-353-3515(直通)